

# 第26回

大野郡5町2村合併協議会

# 会議録

## 第 2 6 回大野郡 5 町 2 村合併協議会議事録

開催日時	平成17年3月3日(木)午前9時30分 ~ 午前10時5分
開催場所	犬飼町中央公民館 大集会室
出席者	別紙
経過報告 議 事	<p>(経過報告)</p> <p>議案 議案第 26 号 平成 16 年度大野郡 5 町 2 村合併協議会会計補正予算(第 3 号) について</p> <p>報告 報告第 33 号 農業委員選挙区定数について</p> <p>報告第 34 号 主な合併準備調整項目について</p> <p>報告第 35 号 大野郡 5 町 2 村合併協議会の廃止について</p> <p>今後のスケジュールについて</p>
議 長	大野郡5町2村合併協議会 会長 芦 刈 幸 雄



第26回大野郡5町2村合併協議会出席者名簿（平成17年3月3日開催）

町村名	職名	氏名	備考
三重町	三重町長	芦刈幸雄	会長
	三重町議会議長	生野照雄	
	三重町新市まちづくり委員会委員長	小野幸義	
清川村	清川村長	森健一	監事
	清川村議会議長	江藤秀明	
	清川村新市まちづくり委員会委員長	衛藤康晴	
緒方町	緒方町長	山中博	副会長
	緒方町議会議長	伊藤憲義	
	緒方町新市まちづくり委員会委員長	大塚尊俊	
朝地町	朝地町長	羽田野昭太郎	
	朝地町議会議長	浅野益美	
	朝地町新市まちづくり委員会委員長	森憲一	
大野町	大野町長	佐伯和光	
	大野町議会議長	清田満作	監事
	大野町新市まちづくり委員会委員長	大野晃達	
千歳村	千歳村長	阿南宏	
	千歳村議会議長	高野健治	副会長
	千歳村新市まちづくり委員会委員長	宮成三生	
犬飼町	犬飼町長	山村昭三	
	犬飼町議会議長	若松成次	
	犬飼町新市まちづくり委員会委員長	佐藤忠憲	
大分県	大野地方振興局長	林満男	
事務局	局長	赤嶺信武	
	次長	倉原浩志	
		田北厚生	総務班
		江藤喜啓	企画部会
		和田裕之	産業部会
	局員	佐保正幸	総務部会
		後藤将彰	
		清水康士	企画部会
		衛藤成史	文教部会
		佐藤浩	
		内田健児	民生部会
		関谷隆一	
		隈田原勇次	建設部会
		池永善博	
		衛藤恒範	産業部会
首藤英治	総務班		

#### **赤嶺事務局長**

ただ今より第 26 回大野郡 5 町 2 村合併協議会を開会させていただきます。開会に当たりまして、協議会規約第 10 条第 1 項により、本日の会議は成立していることをご報告申し上げます。早速、会議次第に入らせていただきたいと思います。開会あいさつを、副会長の緒方町の山中町長にお願いいたします。

#### **山中副会長（緒方町長）**

おはようございます。3 月、弥生といえども、まだまだ寒い日が続いておりますが、ご健勝のことと思います。最後の合併協議会になりましたが、第 26 回の大野郡 5 町 2 村合併協議会をただ今から開催致します。どうぞよろしくお願いいたします。

#### **赤嶺事務局長**

ありがとうございました。続きまして会長あいさつを、芦刈会長、よろしくお願いいたします。

#### **芦刈会長（三重町長）**

はい。おはようございます。本日は第 26 回大野郡 5 町 2 村合併協議会の開催を致しましたところ、委員の皆様方には、年度末を控えまして大変ご多忙の中にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。本日の協議会では議案 1 件と、それから報告 3 件でございますが、どうかご協議をいただきますようお願いを申し上げまして、開会に当たりましてのごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### **赤嶺事務局長**

続きまして、地元町長であります、犬飼町の山村町長のごあいさつをお願いいたします。

#### **山村委員（犬飼町長）**

皆さん、おはようございます。第 26 回の合併協議会、最後になる協議会ということでございます。この協議会も、私が町長になって今回で 22 回目、これが最後になるということで、非常に思いが深いものだと思います。どうか 26 回の協議会をスムーズに、和やかなうちに終わることをご祈念申し上げまして、簡単ではございますが、あいさつと致します。

#### **赤嶺事務局長**

ありがとうございました。本日のこの会場は、犬飼町職員の方々のご協力をいただきまして準備することができました。事務局からもお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。それでは引き続きまして、事務局より経過報告を致します。

資料 1 であります。1 ページをご覧くださいと思います。2 月 22 日の火曜日に、第 25 回協議会を千歳村役場で行いました。協議案件が 2 件、報告案件が 3 件ということであります。2 月 25 日に第 37 回幹事会。3 月 2 日に第 38 回幹事会を行っております。本日、第 26 回の協議会であります。以上で経過の報告を終わります。次第の 5 以降につきましては、協議会規約第 10 条第 2 項によりまして、会長が議長を務めることとなっております。それでは会長、よろしくお願いいたします。

#### **芦刈会長（三重町長）**

はい。次第の 5 以降につきましては、私の方で議事の進行をさせていただきますが、どうかご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。最初に「議事録署名人の指名について」でございますが、大野町議会議長の清田議長さん。それから犬飼町新市まちづくり委員会の委員長、佐藤委員長さん。お二方にどうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、早速でございますが議事に入らせていただきます。最初に議案と致しまして、議案第 26 号「平成 16 年度大野郡 5 町 2 村合併協議会会計補正予算（第 3 号）」について」を議題と致します。事務局、説明をお願いします。

#### **事務局（総務班 田北）**

はい。事務局総務班の田北です。よろしく申し上げます。資料につきましては、左上の方に議案第 26 号と書いてある A 4 の資料をご覧ください。表題としまして「平成 16 年度大野郡 5 町 2 村合

併協議会会計補正予算（第3号）について」です。資料の1ページ目をお開きください。補正額はプラスマイナスゼロというふうになりますが、増額の分について申し上げます。役務費で、通信運搬費110万円とありますが、豊後大野市市制施行記念としまして、記念切手の作成をしたいと考えております。5町2村の代表的な写真を入れまして1,000枚、作成するようにしております。そして役務費の一番下の方に、広告料の31万5000円とありますが、3月31日に発足します豊後大野市の新聞広告を考えております。これは大分合同新聞になります。その31万5000円です。役務費141万5000円の増で、それに伴いまして報償費の50万円の減。これはシンポジウム等、いろいろ計画してはいたしましたが、開催できませんでしたので、その50万円の減。旅費等につきましても研修を計画してはいたしましたが、それも開催できませんでしたので、91万5000円の減ということで、補正額としては、合計の補正額としてはゼロですが、役務費の増ということで今回提案します。よろしくお願いいたします。

#### 芦刈会長（三重町長）

はい。ただ今、補正予算の内容につきまして事務局の方から説明を申し上げましたが、何か質問、ご意見等がございますでしょうか。よろしいでしょうか。

はい。それでは、議案第26号につきましては決定をしてよろしゅうございますか。

はい。ありがとうございます。それでは、平成16年度大野郡5町2村合併協議会会計補正予算（第3号）につきましては、原案通り決定とさせていただきます。ありがとうございます。続きまして、報告事項に入らせていただきます。最初に、報告第33号「農業委員選挙区定数について」。事務局、報告をお願いします。

#### 事務局（産業部会 和田）

はい。産業部会担当の和田です。よろしくお願いいたします。農業委員の選挙区の人数につきまして報告をさせていただきます。協定項目の確認事項で、各選挙区の定数はおおむね選挙人の数に比例して定めるといふふうに確認されておりますので、それにのっとり、先の幹事会において、2月中旬ごろにおおむね設定された人数で算出してもよいという確認をいただきましたので、それに応じて算出したものです。一番右側の算出委員数というものをご覧ください。網掛けになっているところが、今年の協定項目で確認された時の、試算された人数でございます。その左側の、17年2月24日というところがございますが、こちらが今回算出した人数でございます。増減なしということで、三重町が5人、清川村が2人、緒方町が7人、朝地町4人、大野町6人、千歳村3人、犬飼町3人の合計30人というふうになっております。以上、ご報告致します。

#### 芦刈会長（三重町長）

はい。以上、報告を申し上げましたが、よろしゅうございますでしょうか。

はい。ご承認をいただきまして誠にありがとうございました。続きまして、報告第34号「主な合併準備調整項目について」。報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### 赤嶺事務局長

今回につきましては、前回、相当数の報告を致しました。その後、調整されたものにつきまして、本日は報告するものであります。順番と致しまして、総務部会、それから民生部会、産業部会、建設部会の順にご報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

#### 芦刈会長（三重町長）

はい。それでは総務部門、よろしくお願いいたします。

#### 事務局（総務部会 佐保）

はい。総務部会の佐保でございます。よろしくお願いいたします。資料につきましては、右上に書いてございます資料ナンバー2、資料ナンバー3を使って報告をさせていただきたいと思っております。まず総務関係、資料ナンバー2でございますが、消防防災、災害対策の部分でございます。災害時の相互応援協定の部分でございますが、これは新市になって速やかに関係町村と相互応援協定を締結するというところでございます。それから自主防災組織につきましては、自治委員を中心とした組織として、その隊員は新市のすべての世帯とするということで調整をさせていただきました。

災害に関する届出・証明に関しては、罹災証明及び罹災証明申請書の様式を、三重町に準じて作成をしていくと。それから罹災証明手数料については、新市において徴収する。1件につき300円ということで調整をさせていただきました。それからこの証明でございますけれども、火災の罹災証明については消防本部で証明をする。ただし、緒方町、朝地町については事務委託の関係がございまして、竹田市消防本部の取扱いによるものとするということで、同じ扱いになるかというふうに思います。風水害の罹災証明は、災害担当課で証明するということとなります。そのほか、補助金関係については記載の通りであります。

次に資料ナンバー3をお開きいただきたいと思います。これについては1～5ページにわたって、ちょっと中身が多くございますけれども、非常勤の特別職の報酬についてでございます。これにつきましてはすべての作業部会、それから調整班会議、調整幹事会で慎重に検討を重ねてまいりました。本日ご報告を申し上げますけれども、まず前提でございますのが、2ページの上の方に書いてございますけれども、合併協議会での調整の方針だということになります。中身については目を通していただきたいと思います。そこでポイントだけご説明を申し上げますが、5ページをお開き下さい。この非常勤の特別職の中で、主に自治法に定められている執行機関という委員がございまして、教育委員会、それから選挙管理委員会、監査委員会、監査委員、それから農業委員会、固定資産評価審査委員ということで記載を致しておりますが、左の方に豊後大野市の金額、それから参考として5町2村の現状と、それと近隣の市。竹田市、白杵市、佐伯市を例に取りまして調整をかけたわけでございます。

監査委員につきましては、新市では年額で66万円ということで調整をさせていただきました。これについては、現行の5町2村の金額と比べますとずいぶん増えるということになりますが、新市になりますと予算規模が大きくなると。それから月例監査あたりの日数も非常に増えてくるのではないかとということが予想されております。従いまして、竹田市、白杵市の平均額を適用したということでございます。竹田市、白杵市、佐伯市、ご覧になると分かりますが、非常に識見者については高い年報酬の額になってございます。

それから農業委員さんについては竹田市、白杵市の平均を取っております。それから副会長につきましては、竹田市、佐伯市の平均。それから委員につきましては、竹田市、白杵市の平均で調整をしたところであります。それから教育委員会の委員長でございますが、これにつきましては農業委員会の会長と同額と致しております。

教育委員会の委員につきましては、農業委員会の副会長と同額で調整をさせていただいた結果でございます。これまで農業委員会の委員さんと教育委員会の委員が同額で5町2村で調整されてきた経過がございますけれども、先進事例、近隣の市をみましても、教育委員さんの方が若干高くなっているということがありますので、合併準備会の中ではこの金額に調整をさせていただいたこととあります。そのほか、選挙管理委員会については日額報酬ということで調整をさせていただきました。内容につきましては、選挙は年によって開催回数が非常に異なっていくと。それから年間の報酬にしますと、毎月開催をしていく必要があるということ。それから選挙人の登録者数を登録する定時登録というものを県に行くわけですが、これが年に3回だというふうな根拠がありまして、日額報酬の方がよいだろうということで調整をしたところであります。

そのほかの委員につきましては、5町2村の現状の範囲を超えない範囲内で調整をさせていただいたということでございます。それぞれの委員の報酬額については、資料に記載を致しておりますのでご覧になっていただきたいと思います。以上でご報告を終わります。ご承認をよろしくお願い申し上げます。

### 芦刈会長（三重町長）

はい。ただ今、総務部会の分につきまして説明がございましたが、何かご質問がございますでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。はい。ありがとうございました。続きまして民生部会、よろしく申し上げます。

### 事務局（民生部会 内田）

民生部会を担当しています内田です。私の方からは民生関係の資料の説明をさせていただきます。資料は資料の1ページ、下段をご覧ください。高齢者福祉の福祉施設について調整方針を載せております。合併協議会の中で高齢者福祉事業の取扱いで、福祉施設等については新市に引き継ぎ、その事業内容、運営方法等は合併までに調整するというふうにしてあります。この調整方針に基づ

きまして、中項目であります、生活支援ハウスでありますとか在宅介護支援センター、デイサービスセンター等の施設の調整を、主に施設の管理・運営ということで行っております。この管理・運営形態は現行通りとし、新市において指定管理者を指定するというふうな調整方針としております。以上、簡単ですが説明を終わらせていただきます。

**芦刈会長（三重町長）**

はい。民生部会の方から説明が終わりましたが、何かご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。はい。ありがとうございました。続きまして産業部会、説明をお願いします。

**事務局（産業部会 和田）**

はい。産業の担当をしております和田です。よろしく申し上げます。資料2の2ページをお開きください。農林水産事業の取扱いということで、林業関係のほだ木造成事業。これはシイタケの種駒事業のことでありますが、これは町村単独、上乘せ補助は廃止するという調整をしております。それと有害鳥獣関係につきましては、被害防止機器貸出事業は廃止するという調整を行っております。その下の一般農政につきましては、作物関係事業については、新市においても産地化が図れるように推進し、事業内容については合併までに調整するとなっておりますので、右側に書いてありますように、各種事業を推進したりするように調整を致しております。簡単ですが、以上でご報告を終わります。

**芦刈会長（三重町長）**

はい。ただ今、産業部会の方から説明がございましたが、何かご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。はい。ありがとうございました。続きまして建設部会、説明をお願いします。

**事務局（建設部会 池永）**

はい。建設部会を担当しております池永です。2ページの下段を見てください。上下水道事業の取扱いとしまして、下水道事業の取扱いについて。維持管理方法については、公共下水道は現行のままとし、農業集落排水は合併時に統一する。使用料の徴収方法、工事の実施方法、費用負担は合併時に統一するという調整項目になってはいますが、調整としまして、公共下水道、農業集落排水事業の維持管理方法は現行の通りとする。ただし、農業集落排水事業の汚泥の処理方法については、新市において統一を検討すると。新設等の費用負担であります、排水設備の新設等に要する費用負担としまして、排水設備の新設等の費用負担については三重町の例により統一をするという調整方針であります。以上、ご報告申し上げます。

**芦刈会長（三重町長）**

はい。ただ今、建設部会の方から説明がございましたが、何かご質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。はい。報告第34号、主な合併準備調整項目につきましてはご承認をいただきまして誠にありがとうございました。

続きまして報告第35号「大野郡5町2村合併協議会の廃止について」。報告をお願いします。

**事務局（次長 倉原）**

事務局次長、倉原であります。お手元のA4の用紙、報告第35号をご覧ください。大野郡5町2村合併協議会の廃止ということで、お聞きいただいて、廃止に関する協議書を付けております。本日の調整項目の報告によりまして、合併までに調整するというすべての項目が終了致しました。そういうこともありまして、合併の前日、3月30日をもってこの協議会を解散、地方自治法でいう廃止ということの報告であります。なお、この協議会の廃止につきましては、設置の協議と同様に議会の議決が必要でございますので、各町村の3月議会に廃止に係る協議の議案を上程することと致しております。以上で報告を終わります。

**芦刈会長（三重町長）**

はい。報告第35号につきまして説明を申し上げましたが、何かご質問はございますでしょうか。よろしくございますか。

はい。ご承認をいただきまして誠にありがとうございました。以上で報告3件につきまして、報

告を終わらせていただきます。続きましてその他、事務局の方、ありますか。

#### 赤嶺事務局長

事務局から、調整項目数について少しご報告を申し上げたいと思います。調整の項目数は最終的に、合併までに調整すべきものとして2,566項目の調整がありました。2,566項目の調整で、合併前までの調整が終了ということをご報告申し上げたいと思います。以上です。

#### 芦刈会長（三重町長）

はい。以上で報告を終わらせていただきますが、委員の皆様方から何かその他の方でご意見等がございますでしょうか。はい。犬飼町の若松議長さん。

#### 若松委員（犬飼町議会議長）

どなたもご意見、その他何も無いようでございますので。長い間、大野郡5町2村の法定合併協議会も、きょうが最終ということでご何となく感慨深いと申しますか、寂しいような感じもするけれども、これを続けるわけにもいきませんから、それはそれでめでたいことだというように思っております。

しかしこの間、非常に昼夜を問わず、この5町2村の新設対等合併と、豊後大野市の誕生ということに向けて、局長をはじめ、合併協の事務局の職員の皆さん、本当にあの小さな部屋で頑張っていた。何か赤嶺局長さんは少しおやせになったのではないかなと思われるぐらい、やはり心血を注いでいただいた。これは局長さんだけではない。やはり事務局の職員の皆さん、皆さん方が一致団結してこの結果が出たというように私たちは確信をしております。

しかし合併というのは、合併が目的ではない。合併することによって、さらにこの地域の振興発展を図る。これはそれで出発点、スタートだというように思っております。どうかこれからも、今までのことをよき糧として、豊後大野市の振興発展のために、また今の合併協の職員の皆さんは、一致団結して共存共栄、互譲の精神、それをもととして、21世紀にふさわしい、夢と希望のあるような、豊後大野市づくりにまい進していただきたいと思います。私どもは終わらないように、今度の町村長、議員は全員失職ですから。あなた方、事務局職員の皆さんは残るわけですから。その精神というものを引き継いでいただいて、さらなるご尽力とご協力、またご指導も賜るように、特に特にお願いを申し上げまして、もう何も無いというようなことでございますから、私の方からの意見とさせていただきます。ありがとうございました。

#### 芦刈会長（三重町長）

どうもありがとうございました。はい。本日は何かとお忙しい中に、委員の皆様の全員のご出席を賜りまして、かつ、真摯でスムーズな協議運営にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

さて、来る3月31日の合併期日まで、いよいよ1カ月を切りまして、本日が事実上の最後の協議会となったわけでございます。従いまして、閉会に当たりまして、会長として一言ごあいさつを申し上げます。大野郡5町2村におけるこれまでの合併の取り組みを振り返ってみますと、平成12年12月の大分県市町村合併推進要綱の公示を受けまして、平成13年3月26日に大野郡町村合併研究協議会を設立し、平成14年4月1日の大野郡6町2村任意合併協議会の発足。その後、発展的に改組を致しまして、平成15年3月1日に本協議会が設立されました。以来、本日を含めまして26回にも及ぶ協議会を開催致しまして、真摯に議論を重ねてまいりました。この間、合併協議の中断等、紆余曲折がございましたが、協定項目の52項目71案件のすべてが確認をされまして、その後の合併準備会におきまして、合併までに調整すべき約2,600もの小項目が順調に調整、確認をされましたことに対しまして、これまでご支援、ご協力を賜りました本協議会の委員の皆様をはじめ、関係者の皆様方に衷心より感謝と御礼を申し上げる次第でございます。本当にありがとうございました。

合併を目前に致しまして、各町村では閉町、あるいは閉村式が予定されておきまして、これまで何十年もの間、生まれ育った町や村がなくなることへの一抹の寂しさを感じられる住民の方々には少なくはないことだろうというふうに考えております。大野郡5町2村はなくなろうとも、それぞれが今日まで培ってきました歴史、文化、人材等、まちづくりの財産は、豊後大野市へきっと確実に引き継がれていくものと確信を致しております。そのようなことから、大野郡5町2村の合併につ

きましては、それぞれの町村の終えんではなくて、豊後大野市の誕生によりまして新たな歴史を刻むとともに、今後の地域づくりの出発点であることを意味するものでございます。

来る3月31日の豊後大野市の誕生を機に、今後はまちづくりのテーマであります豊かな自然と文化を未来につなぐ安らぎ、交流都市の創造に触れまして、市民の皆様と行政とが緊密に連携する、いわゆる協働のまちづくりに努めていかなければならないというふうに思っております。そのため、本日出席の委員の皆様方が、それぞれの分野のリーダーとして豊後大野市のまちづくりに積極的にかかわっていただきまして、21世紀にふさわしい、未来輝く豊後大野市の発展に寄与していただくことをお願い申し上げまして、ごあいさつとさせていただきます。長い間、大変お世話になりました。ありがとうございました。(一同拍手)

#### **赤嶺事務局長**

はい。ありがとうございました。それでは本日が最後の合併協議会ということでありまして、先ほどの若松議長のご意見にもありましたように、事務局がこれまでやってこられたのも、皆様方のご協力の賜というふうに大変感謝を申し上げたいというふうに思っております。

事務局はそれぞれ30日をもちまして解散ということで、豊後大野市の中にそれぞれ分散をして、それぞれの職場の中で頑張っていくということになるかというふうに思っております。豊後大野市のためにそれぞれが持つ力を十分に発揮しながら、今後まちづくりにまい進していきたいというふうに考えております。今後とも、どうぞ皆様よろしく願いいたします。(一同拍手)

では大変ありがとうございました。それでは最後になりましたが、閉会のごあいさつを、副会長であります千歳村の高野議長よりお願いいたします。なお、閉会の後、写真撮影をしたいと思っておりますので、この場にお残りをいただきたいと思っております。そして、それが終わりましたら町村長連絡会を開催致しますので、別室をお願いいたします。よろしく願いいたします。

#### **高野副会長(千歳村議会議長)**

それでは、最後の5町2村合併協議会が滞りなく慎重審議にご協力賜りましたことにつきまして、厚くお礼申し上げます。振り返りますと、万感胸に迫るものがあり、止まってばかりいたら先に進みませんが、どうか今後、新市が素晴らしいものになることを期待し、またそのことが後に合併してよかったなということを希望しながら、26回目の合併協議会を辞したいと思っております。ご協力、誠にありがとうございました。

(一同拍手)

#### **赤嶺事務局長**

以上をもちまして、第26回の合併協議会を終了致します。これですべての合併協議会を終了させていただきます。

(一同拍手)

どうも大変ありがとうございました。

会長（三重町長）

議事録署名委員

大野町議会議長

犬飼町新市まちづくり委員長